

食害対策は新たな展開！ 早池峰シカ防護網、3年目に突入

6月5日（金）、早池峰で岩手県自然保護課主導による、二ホンシカ食害対策の実証試験として防鹿柵（網）の設置作業の3年目の作業が行われました。

一昨年スタートした事業で、崩壊のため入山を制限している正面コースには自然保護課が設置した2ヶ所と森林管理局が設置した3ヶ所、小田越コースには2ヶ所、薬師岳コースに1ヶ所の網があり、昨年の秋に積雪対策として現地に畳んでおいた網を立ち上げる作業と、新たに県道沿いに4ヶ所を設置するのがこの日のテーマでした。

今シーズンの早池峰は、土・日曜日のマイカー規制が行われるものの、「密」にならざるを得ない「シャトルバス」は感染症対策のため運行されないことになり、山開きも麓の神社で関係者のみの神事だけで、入山者も少なくなることが予想され、余計に「シカたちの楽園」の状態になる可能性があります。

集合地は山麓の岳地区の駐車場で、早池峰グリーンボランティアの会員や岩手県南森林管理署遠野支署など40人ほどが終結し、自然保護課担当者の指示で一旦小田越まで分乗して移動、2班に分かれて小田越コースと薬師岳コースの既設の網をセットしました。昨年苦労して2合目付近に設置したポイントは、拡張のための手続き中とかでこの日の作業はありませんでした。

河原ノ坊に降りて昼食を摂った後、午後はうすゆき山荘より下の県道沿いに大小4ヶ所、新たにポールを立てて設置する作業です。この地点はアズマザサの足元に貴重な植生が見られ、わずかに残った笹と共にこれ以上の被害を食い止めることを目的とした、実証試験というよりは規模は小さいながら本格稼働の様相です。午前中の網をセットするだけの作業と違い、ポール打ちの後新しい網を70mにわたって残された笹の集団を取り囲むように立ち上げていくので、結構時間がかかりましたが、何とか所記の目標に到達できたようでした。

終了後は班ごとの下山となり、岳駐車場で班ごとに解散しましたが、最終班の皆さんが戻って課長さんの挨拶を聞き、無事に1日の活動を終えて家路につきました。



小田越コースの網



県道沿いの網